

2017年10月10日

リコーダー演奏の第一人者・吉澤実氏監修

■ ICT でリコーダー授業の課題を解決。生徒のみならず指導者もサポート

ヤマハデジタル音楽教材『アルトリコーダー授業』

- 充実の「練習機能」「解説・演奏動画」が生徒一人ひとりに合った学びを提供 -

ヤマハ株式会社は、当社が展開する「Smart Education System」^[注]の新品として、「アルトリコーダー」を用いた音楽授業に最適な、Windows パソコン・タブレット端末用のデジタル音楽教材『アルトリコーダー授業』を10月23日(月)より発売します。生徒の協働学習や個別学習に適した校内無制限ライセンスを株式会社内田洋行の教育コンテンツ配信サービス「EduMall」(エデュモール <http://www.edumall.jp/>)を通じて販売するほか、一斉学習に適したシングルライセンスを一般の書店、楽器店、インターネット通販サイトなどを通じて販売します。

[注]当社が展開する、小中学校などの学校の音楽教育現場を対象とする ICT を活用した音楽教育ソリューション。



教材イメージ



シングルライセンス版<書籍>イメージ

<価格と発売日>

品名	ライセンス方式	提供形態	提供経路	価格(税抜)	発売日
アルトリコーダー授業	シングルライセンス	DVD-ROM 付書籍 ※1	一般書店、楽器店、インターネット通販サイトなど	7,500円	2017年 10月23日
	校内無制限ライセンス	ストリーミング	EduMall (エデュモール) ※2	15,000円/年	

※1: 一般の方でも購入できる形式で販売します。ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングスが販売します。

※2: 別途「EduMall」の利用契約が必要となります。

<製品の概要>

「リコーダー」は学校の音楽教育に適した楽器として現在、多くの小・中学校の音楽授業で用いられています。特に中学校で用いられることの多い「アルトリコーダー」は、小学校で学習した「ソプラノリコーダー」への苦手意識や新たな運指習得の難しさなどから、生徒間の習熟度の差が大きくなりやすい傾向にあります。そのため指導者は、生徒一人ひとりの学びをきめ細かくサポートしながらも、クラス全体の授業進行も確保しなければなりません。

今回、発売する『アルトリコーダー授業』は、こうした課題を解消するために開発された新しいデジタル音楽教材です。昨今、学校現場で普及が進むタブレット端末で利用することで、グループでの協働学習や個別学習を効果的に行えるだけでなく、机間を回りながら生徒を指導する時間もしっかりと確保できます。また、大型モニター等に本教材を映し出して使用することで、クラス全体の学習をより効果的に進められるようになっています。



本教材には「テンポ変更機能」「リピート機能」「伴奏機能」「楽譜連動の運指表示機能」など、デジタル教材ならではの機能を搭載しており、生徒一人ひとりのレベルに合った段階的な学習を可能にします。30曲の幅広いレパートリーを備えており、各楽曲の「使用音」を確認して、指導者がクラスの学習進度に合わせた選曲ができるように工夫しました。また、デジタル教材に不慣れな指導者でもすぐに本教材を用いた授業が行えるように、指導者向けの「授業モデルパック」も同梱しました。

さらに本教材は、日本におけるリコーダー演奏の第一人者として知られる吉澤 実氏の監修のもとで制作しました。同氏のノウハウが詰まった「解説・演奏動画」を多数収録しており、予備知識からエクササイズまで、視覚的にも聴覚的にも分かりやすく学べるものとなっています。リコーダーの演奏が苦手な指導者でも「解説・演奏動画」を活用して効果的に授業を行えます。

<製品の主な特長>

1. デジタル教材だからこそ実現出来た4つの練習機能

ゆっくり演奏して習熟度を深めることができる「テンポ変更機能」、苦手な部分を繰り返し練習できる「リピート機能」、伴奏に合わせて楽しく練習できる「伴奏機能」、そして楽曲進行と連動して指づかいが表示される「楽譜連動の運指表示機能」を搭載。4つの機能が生徒一人ひとりのレベルに合わせた学びを提供し、指導者による机間指導の時間もしっかりと確保できます。



2. 教科書掲載曲から人気のポップスまで、30曲の幅広いレパートリーを収録

教科書に掲載されている器楽曲、合唱曲、鑑賞曲をはじめ、ディズニーやジブリ、J-POPなど、生徒に耳馴染みのある楽曲も収録しています。さらに各楽曲の使用音を一覧で確認することができるようになっており、「左手のみで演奏できる曲」、「サミングを含む曲」など、指導者は学習の進行度に応じて適切な楽曲を選択できるようになっています。

3. 専門家による豊富な解説・演奏動画を収録

リコーダー演奏の第一人者である吉澤 実氏が監修した解説・演奏動画を多数収録。リコーダーに関する基本的な知識から、段階的なステップアップを可能にするエクササイズに至るまで、指導に必要なエッセンスが盛り込まれています。また、一つ一つが短い教材となっているため、授業の中でも使いやすいものとなっています。



■吉澤 実 (よしざわ みのる)

ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学をオーストリア政府奨学生として卒業。オルフ研究所(音楽教育)を修了。N.アーノクールに師事。NHK 教育テレビ「ふえはうたう」「趣味悠々」講師。テレビ朝日「題名のない音楽会」他、国内外でのコンサート多数。著書は60冊ほど。現在、武蔵野音楽大学、東京藝術大学非常勤講師。

Photo:Keiichi Kimura

4. 指導者をサポートする「授業モデル」「ワークシート」も同梱

デジタル教材を活用した授業の進め方をイメージしやすいように、全体の授業計画や各授業の展開、デジタル教材の使いどころを細かく記載した「授業モデル」を同梱しています。また、すぐに授業で活用できる生徒用の「ワークシート」も付属。単なる「アルトリコーダー」の教則本としてではなく、学校の音楽授業での利用を想定した教材内容になっています。

※本リリース末に「授業モデル」「ワークシート」の一部を掲載しています。

5. 個別学習、協働学習、一斉学習、いずれにも対応する提供形態

さまざまな授業形態に対応できるように「校内無制限ライセンス」と「シングルライセンス」の2種類の提供形態を用意。「校内無制限ライセンス」は、個別学習やグループによる協働学習など、複数台のタブレット端末を用いた学習形態に適しており、年間定額で校内の対応端末に無制限に導入できます(ストリーミング配信)。「シングルライセンス」は、指導者の手元機材に導入して大型モニター等に投影して活用するなど一斉学習の形態に適しており、対応端末1台のみに教材をインストール出来るDVD-ROMを付属した書籍として提供します。

<動作環境>

対応 OS	Windows10 / Windows8.1 / Windows7
CPU	Intel Celeron 2957U 1.40GHz 以上推奨
必要メモリー	2GB 以上
ハードディスク	1GB 以上
その他	DVD ドライブ(インストール版のみ)、オーディオデバイス

※本製品を「EduMall」にてご利用の場合は、別途対応ブラウザをご確認ください。

※動作条件を満たしている場合でも、全てのコンピュータでの動作を保証するものではありません。

<オンライン体験版の公開について>

「Smart Education System」公式サイトにて、『アルトリコーダー授業』をブラウザ上で体験できるオンライン体験版を公開しています。シリーズ商品であるヤマハデジタル音楽教材「ギター授業」「箏授業」も体験できます。

- ・オンライン体験版：<http://ses.yamaha.com/products/experience/>

<本教材の活用事例動画>

本教材を先行活用した事例動画を以下のウェブページにて公開しています。

- ・静岡県浜松市立舞阪中学校 活用事例：<http://bit.ly/2xWhAeS>

<「Smart Education System」今後の展開について>

当社が展開する「Smart Education System」では、今回のデジタル音楽教材の提供のみならず、今後は、楽器やネットワーク機器、クラウドサービスや人的サポートも含めた包括的なソリューションを提供することで、新しい時代の音楽教育をサポートしていく予定です。なお、「Smart Education System」公式サイト (<http://ses.yamaha.com/>) では、製品・イベント情報のほか、これまでの実証授業の様子や、各教材の授業モデルパックの追加提供、その他さまざまな情報を発信しています。

*その他の文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

この件に関するお問い合わせ先

- 報道関係の方：ヤマハ株式会社 広報部 企業広報グループ 担当：新川（あらかわ）

TEL 03-5488-6601 FAX 03-5488-5060

- 教育関係者・一般の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 新規事業開発部 SES 事業推進グループ 担当：玉井

TEL 03-5488-5074 FAX 03-5488-6485

授業モデル・ワークシート例

中学校 第2学年	題材名	リコーダーを楽しもう「涙そうそう」		
	教材名	「涙そうそう」(作曲: BEGIN)	時間	5時間

■題材の目標

アルトリコーダーの音色や基本的な奏法に関心を持ち、それらを生かしながら曲の旋律や雰囲気合った表現を工夫し、思いや意図を持って演奏する。また、2つのパートでアンサンブルをすることにより、全体の響きや各声部の音を聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、美しいハーモニーを奏でることを目指す。

■学習指導要領との関連

A 表現 (2) 器楽 ア 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫すること。

イ 次の(7)及び(4)について理解すること。

(7) 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり

(4) 楽器の音色や響きと奏法との関わり

ウ 次の(7)及び(4)の技能を身に付けること。

(7) 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能

(4) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能

【共通事項】音色、リズム、旋律、テクスチャ、強弱

■教材観

「涙そうそう」(作曲: BEGIN)

2000年に発売されたBEGIN18枚目のシングル曲で、翌年には夏川りみがカバーしヒットした。「涙そうそう」とは沖縄の言葉で「涙がぼろぼろこぼれ落ちる」という意味。作詞を手がけた森山良子が亡き兄を思って書き上げた歌詞の世界観や、どこか切なく、どこか懐かしさを感じさせる旋律を、2声のアンサンブルでどのように表現するかがポイントとなる。

サビの部分の主旋律は「ミ・ソ」が連続する運指で少々難易度が高いが、基礎技術を身に付けた上で、旋律やフレーズに合ったアーティキュレーションや息づかい、強弱などを工夫することで、リコーダーの特徴である音色の美しさを表現することを目指したい。また、アンサンブルする上でも副旋律が主旋律よりも高音の部分があるので、各声部の役割を考えながら全体の響きとの関わりを意識して演奏する技能を身に付けやすい教材である。

■ヤマハデジタル音楽教材「アルトリコーダー授業」を使用した指導計画 (5時間)

※既に第1学年でアルトリコーダーの学習を進めていることを前提とする。

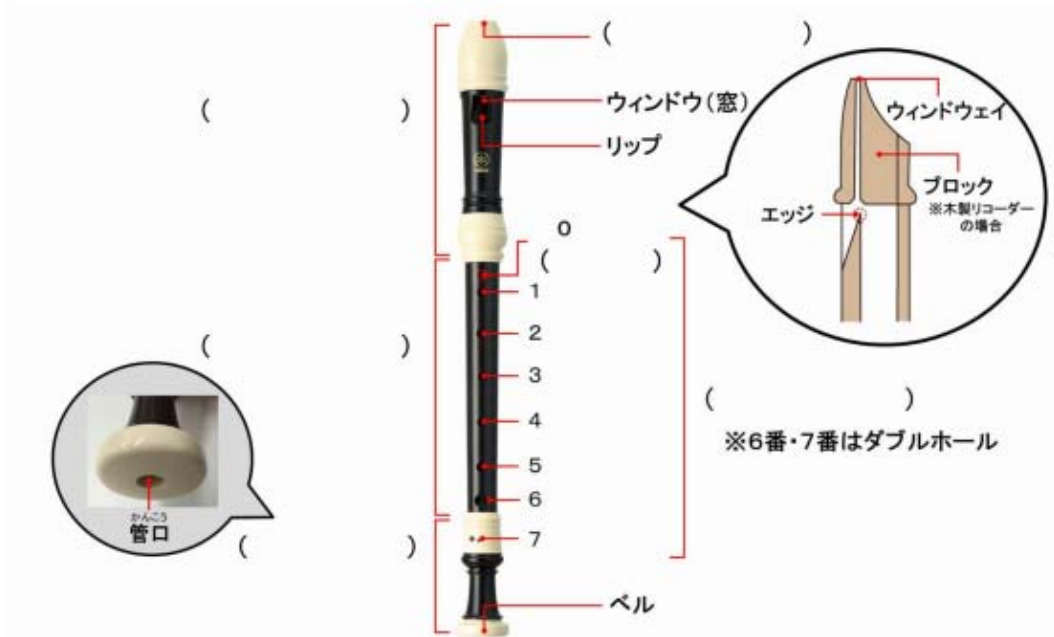
	学習内容	めあて	指導上の留意事項
第一時	<ul style="list-style-type: none"> ■アルトリコーダーについての基礎知識を復習する。 ■「涙そうそう」を聴いて曲想を感じ取る。 ■「涙そうそう」を階名唱(固定ド唱法)する。 	アルトリコーダーの基礎知識を復習し、「涙そうそう」の曲想を感じ取ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤマハデジタル音楽教材「アルトリコーダー授業」(以下「デジタル教材」と記載)を提示しながら、アルトリコーダーの各部の名称、姿勢、音づくりを復習させる。 ・大型モニター又は各自のタブレット端末でデジタル教材を見ながらタンギングについて復習し、実際にエクササイズの譜例を演奏させる。 ・姿勢やタンギングなどに気を付けながら、第1学年で学習した曲をいくつか演奏させる。 ・「涙そうそう」を聴いて音楽を形づくっている要素を知覚・感受させ、感想をワークシートに記入させる。 ・デジタル教材の伴奏に合わせて「涙そうそう」の主旋律を全員で階名唱(固定ド唱法)させる。

リコーダーを楽しもう 1 組 氏名

～学習のめあて～

アルトリコーダーの基礎知識を復習し、「涙そうそう」の曲想を感じ取ろう

■リコーダーの各部名称について



■「涙そうそう」を聴いて感じたことを書こう

■本日の授業を振り返って自己評価しよう

正しい姿勢やタンギングの方法でリコーダーを演奏できましたか？	A・B・C
「涙そうそう」を聴いて、曲想をとらえることができましたか？	A・B・C
「涙そうそう」の主旋律（A1パート）を正しい階名で歌えましたか？	A・B・C
授業の反省・次回への課題をメモ	